

あしがき

本報告書は当初、平成23年度明け早々に発行する予定でしたが、平成23年3月、東日本大震災が発生したことから、一時編集作業の中断を余儀なくされました。今般、一部内容を更新して発行することとしました。

東日本大震災においては、被災地域のバス事業者ご自身も甚大な被害を受けました。それでもいち早く運行を再開し、鉄道、地下鉄の代替輸送や避難者、被災者の通学、通勤、生活の非常時の足として、重要な役割を果たされ、改めてバスの利便性が再認識されたところです。

東日本大震災後、全国各地のバス事業者からノンステップバスをはじめとする車両が被災地の事業者へ提供されており、少しずつ活力を取り戻しつつあると思います。

乗降が容易なだけでなく、小さい子供や足腰等の不自由な高齢者、車いす使用者等、人にやさしいバスであるノンステップバスが普及していくことで、地域の人々に移動、交流する喜びをもっともっと感じていただき、被災地での復興の原動力となっていくことを願う次第です。

ノンステップバス導入促進に関する本報告書は、これまでの調査結果に基づいて取りまとめておりますが、この他にも様々な要因が隠れていたり、また今後の社会情勢等の変化により、ノンステップバスの導入環境も変わってくると思います。

東北運輸局では、今後もノンステップバスの導入促進に向けた対応に引き続き取り組んで参ります。

最後に、本調査において、アンケート調査や取材等にご協力いただいた東北管内及び北海道のバス事業者、自治体ご担当者、北海道運輸局、旭川運輸支局をはじめとする関係各位に改めてお礼申し上げます。

平成 24 年 3 月
国土交通省東北運輸局
交通環境部消費者行政・情報課